

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和4年6月14日

番号	1	質問者	横尾正信	タイトル	養父市分ゴミ埋め立て処分料問題	
質問事項			質問要旨			答弁を 求める者
1	覚書と養父市のゴミ埋め立て処分料問題について問う		<p>(1) 覚書に基づく養父市分のゴミ埋め立て料はあまりにも安すぎるのではないか。</p> <p>(1)覚書に基づいて、いくらで埋め立てているのか。また、その料金で受け入れている理由はなにか。</p> <p>(2)余りにも安すぎるのではないか。</p> <p>(3)両市協議の上で、適正料金に是正すべきではないか。</p> <p>(2) 覚書に基づいて、埋め立て処分の依頼と料金の支払いを南但広域行政事務組合が行なっているが、それは南但広域行政事務組合規約3条に違反しているのではないか。</p> <p>(1)規約3条によれば、組合は処分事務において中間処理しかできないことになっている。なぜか。</p> <p>(2)埋め立ては中間処理か、最終処分か。</p> <p>(3)最終処分の義務と事務は、両市に残されているか。</p> <p>(4)組合は規約上、最終処分の契約主体たりうるか。</p> <p>(5)最終処分の契約は、義務権者である養父市と朝来市の間で結ばれる必要があるのではないか。</p> <p>(3) さらに「最終処分の事務委託」の手続きにおいて、自治法上の問題があるのではないか。</p> <p>(1)あえて、法252条14によらず、私法上の契約とした理由はなにか。</p> <p>(2)現在の地方行政を取り巻く状況から見て、法252条14に基づいて協約した方が良いと考えるが。</p> <p>(3)朝来市自治基本条例の理念の点からも、見直すべきではないか。</p>		市長	

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月14日

番号	1	質問者	澁本 稔	タイトル	市民生活向上のための施策を
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	デジタル田園 構想について	(1) 政府のデジタル田園都市構想について、どのように対応するのか見解を問う。  (2) この構想を実現する上で、極めて重要なものはデータセンターの存在である。災害の少ない朝来市に、このデータセンターを誘致して、若者の雇用・地域の発展に結びつけるべきだが、見解を問う。			市長
2	バイオマス発 電の課題克服 について	(1) 朝来木質バイオマス発電所へのbe材の供給・貯蔵状況等、現状を問う。  (2) 林地残材等への需要創出計画の現状と、今後の林業育成・振興について問う。			市長
3	J R 播但線の 維持・継続につ いて	(1) J R 西日本が、播但線（和田山～寺前）をはじめ県内4路線の赤字状況を公表したが、市としてどのように受け止めているのか問う。  (2) 将来、仮に播但線の減便や廃止等になれば、市民の通勤・通学、観光に大きな影響が出る。維持・継続するためにどう取り組むのか問う。			市長
4	路線バスの充 実について	(1) 奥銀谷地域を走る路線バスで、地域住民にとってメインともいえるダイヤが廃止された。この措置の経緯を問う。  (2) 住民要望と適切な運行について、今後の取り組みを問う。			市長

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月14日

番号	2	質問者	関 綾 乃	タイトル	住んでよかった朝来市に！
質問事項		質問要旨			答 弁 を 求める者
1	朝来市における危機管理及び災害への対応について	<p>(1) 本市は過去に2度、爆破予告を受ける騒動があり、周辺住民や市職員が大変驚愕と不安な時間を経験した。幸い大事には至らず胸をなで下ろしたのは言うまでもないが、その後、警戒はしているのか。 また具体的に、どの様にして予防に努めているのか。</p> <p>(2) 2020年6月と11月の対応には、警察と職員が連携し庁舎内の警戒にあたったと伺っている。誰かが行わねばならない事態であったと理解もしているが、このような危険な任務については「命」を大切にしたいと切に願う。このことは大きな災害についても同じ事が言える。 災害が発生した場合、朝来市ではどの様な手段・方法で災害状況を把握するのか問う。 (第一報を見極めるための確認方法について)</p> <p>(3) 土砂崩れや水害など、被害が大きい場合、「その向こうの被害状態・景色」がどの様になっているか把握する必要がある。朝来市はどの様に考えるか。</p> <p>(4) 被害状況を把握し災害から復旧するため上空からの写真等の提供を受けるなど締結している協定はあるのか。 具体的な内容は。</p> <p>(5) その被害状態を確認し、支援要求や災害復興へ踏み出す一助として、近年、様々な自治体がドローンを活用している。本市でも有効な取組みになると考えるが、どうか。</p> <p>(6) 「ドローン利用」を明確にすることは、市の84%が山林である本市にとって非常に重要な災害対応になると考える。自治体によっては、横断的な課の職員からなるドローン操縦チームを結成し有事に備えている。災害対応にドローンを導入する場合、本市としても災害対策本部にいる職員と密に連携・連絡を取ることが容易な「職員操縦チーム」は必要と考えるが、どうか。</p>			市長 教育長

	<p>(7) 災害規模によって、救助ヘリコプターによる上空からの災害救援活動・物資の搬送が想定される。しかし、土砂災害や水害時が起こった場合、我が市には都市部のようにランドマークや上空からの目印になるモノが少ない。小学校などの屋上を利用し、校名を記す「ヘリサイン」に取り組む学校・自治体もある。どう考えるか。</p> <p>(8) 農業・観光においても期待の大きい分野だが、いずれも本市においてもドローン導入で新たな「改革」が感じられるが、どう考えるか。</p>	
<p>2 新型コロナワクチン接種とその副反応について</p>	<p>(1) 国の主導で新型コロナワクチン接種が薦められた。一定期間は重症化しにくいという観点から「接種の効果は認められた」とされる一方、本市でも第3回目・4回目の接種を薦めている。これは「ワクチン効果の持続性がない」との判断をしたからか。</p> <p>(2) 「有効性」「安全性」について十分な治験が実施されていない。つまり「現在行われているワクチン接種そのものが実験中と言い換えることが出来る」と言う医師が、海外のみならず日本、そしてここ・朝来市にもおられる。我々へのワクチン接種は医学の基本である①必要性②有効性③安全性が揃い、初めて行われるべきものである。朝来市として、何を基準にこの「新型コロナワクチン」は適当と判断したのか。どの様な調査を行ったのか。</p> <p>(3) 接種はあくまで任意であり強制されるものではない、と明言されている。しかし、「接種しない」「接種できないから接種を選択できない」という、非接種者への無言の圧力・疎外感を生む空気が残念ながら本市においてもある。それでは「自ら選択して接種しない」という状況が保証されておらず、真の意味での「選択」はできない。この現状を、どう考え改善するか。</p> <p>(4) 市民が自ら「接種・非接種」を選択できるよう、必要と思われる正確な情報については提供すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(5) 日本の「副反応疑い報告制度」に近い仕組みで、米国にはワクチンを受けた後に有害事象(何か悪いこと)が起きたら報告できる「VAERS」という報告システムと、さらに詳しく検証するために「VSD」というシステムを利用して考察した結</p>	<p>市長</p>

	<p>果、安全性が不確かな現在のコロナワクチンを接種するメリットはないといわれている。日本においても、新型コロナの感染による急激な死亡率はあがっていないとの見解が出ている。また、「VAERS」による別の資料、英国・カナダの資料からは、ワクチン接種者の方がコロナ罹患率は高く、罹患した後に死亡する率は、非接種で罹患し死亡する率よりも高いとされるデータがある。つまり、ワクチン接種者の方が接種をしない方よりもコロナ罹患率は高くなり死亡率も高くなる、というデータだ。</p> <p>①本市において、コロナで亡くなった方の人数は。</p> <p>②そのうち、ワクチン接種者と非接種者の数は。</p> <p>③コロナ罹患者のうち、現在までのワクチン接種者と非接種者の数は。</p> <p>(6) 接種後、意に反して思わぬ副反応が現れ苦しんでいる方がおられるのも内閣府の調査で明らかになっている。</p> <p>医学的知見が必要となる専門的な相談は、兵庫県新型コロナワクチン専門相談窓口か厚生労働省新型コロナワクチンコールセンターに電話するよう問い合わせ先が記されているが、市民がその窓口を通じて相談した場合、その人数や症例等について朝来市にフィードバックはあるのか。もしくはは情報を求めることはできるのか。</p> <p>(7) 市民としては、身近な朝来市の職員に相談に乗ってもらいたいと言うのが本音ではないだろうか。担当課はワクチン接種により、何らかの健康異常が感じられるといった類の相談を受けたか。受けた相談内容や副反応の症例について市長は把握しているか。</p> <p>(8) ワクチン接種を希望する市民がいるのも事実で、接種を完全否定するものではない。しかし、データの出所を示し接種後の副反応等についても症例を明示する責任が、市民の命や健康を守る自治体にはあると考える。ワクチン接種の検討を促す案内を実施するならば、同時に、ワクチン接種の弊害も朝来市としてしっかり調査し、情報発信することが必要と考えるが、どうか。</p>	
--	--	--

<p>3 市民にとって 利便性の良い 公共交通とは</p>	<p>(1) 本市の公共交通の問題について、①JRの利用促進 ②路線バス・地域コミュニティバスの運行ダイヤ や走行路線の改善③デマンド型バスやタクシーの 在り方について考えられる。 「JRの利用促進」について、朝来市営駐車場を利用 して JR に乗車した場合、駐車場料金について 支援する制度「朝来市版パーク&amp;ライド」につい て検討してはどうか。</p> <p>(2) JRと連携し、サイクルトレインを実施するイベ ントも JR の乗車率向上と本市への観光客増加が見 込めると考える。実施を検討してみてもどうか。</p> <p>(3) コミュニティバスなど、時刻表の見直しや新しい 取組みに期待を高めるのは免許を返納する方やご 高齢の方ばかりではない。お稽古などの習い事や 趣味の教室・スポーツクラブを楽しみにする子ども 達の利用も忘れてはならない。下校時間後に行 われる、民間クラブ教室などの実態も調査しダイ ヤを見直す材料にしなければならないと思うが、 どう考えるか。</p> <p>(4) 本市のような地方では、自宅より少し離れた田畑 での作業を行うため軽トラックに乗車したり、大 型トラクターを運転するため、免許を返納できな い方もおられる。つまり本市の農業を維持するた めにも、可能な限り免許を維持して頂くことも視 野にいれねばならない。運転免許交付については 警察の所管になるが、本市独自に「免許維持」を 応援しサポートする制度を設ける事は、元気な高 齢者が多い我が市にとって非常に有意義なこと になるのではないかと考える。いかがか。</p>	<p>市 長 教育長</p>
---------------------------------------	---	--------------------

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月14日

番号	3	質問者	足立義美	タイトル	城跡等、竹田地域振興策について
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	竹田城跡観光の振興等について	(1)	近年は、コロナウイルスの影響により、入込状況が低迷しているようですが、数的にどのように推移していますか。また、年間入場パスの購入数の推移はどうなっていますか。		市長 教育長
		(2)	令和3年11月の城跡ライトアップは、特別なやり方で行われていましたが、その効果等、どのような評価がなされていますか。		
		(3)	以前の一般質問で、ライトアップの関係をお尋ねした時に、多くのライトが壊れているとのことでしたが、更新計画等はどうなっていますか。		
		(4)	冬季は、なかなか夜が明けません。お越しになったお客様に、駐車場等の案内に際し、懐中電灯を灯して案内しているケースがあるとお聞きしましたが、どのような実態になっていますか。		
		(5)	冬季開山は、城跡の工事が進捗する令和6年頃までにどうするか検討するとお聞きしていますが、令和3年12月下旬には、大雪になりました。この時の対応はどのようにされましたか。		
		(6)	城山の中腹にある第1、第2駐車場の活用状況はどうなっていますか。		
		(7)	日本国内の城では、登石垣を有する城は、多くないようですが、規模等、登石垣に対する調査は、しっかりされていますか。		
		(8)	外国人観光客の受け入れが徐々に再開されました。インバウンド復活に向けての対策として、何か対応・あるいは検討されていることはありますか。		
		(9)	三の丸の石畳の上は、見学コース内となっています。このままだと敷石の角が取れていくなど心配し		

			<p>ています。史跡保護の観点からコース外にすべきと考えますがいかがですか。</p> <p>(10) 竹田城跡の保存を図るためにも、史跡部分を中心に市有地として、買い上げることが適切と考える旨の質問をし、将来的には公有化を検討したい旨の答弁をいただきましたが、買い上げの計画は、その後進展していますか。</p> <p>(11) 第2次朝来市観光基本計画では、観光ブランド力を高め、「おもてなし」による交流人口の拡大と観光振興による地域経済の活性化を推進するとなっています。そして、市民は、おもてなしの心の醸成が必要とされています。市民の観覧料を無料にすることで、おもてなしの実践を図ることにすべきだと考えますがいかがですか。</p> <p>(12) 竹田地域ビジョン会議Ⅲを開催する計画はありますか。以前お聞きした時に、前向きに検討する旨の答弁をいただきましたが、検討状況はいかがですか。</p> <p>(13) 立雲峡の展望台に設置された「光の道天望所」の設置に対する反響はいかがですか。</p> <p>(14) これまで何度か夜間のイベントを開催されましたが、どのように評価されていますか。</p> <p>(15) 三の丸、二の丸の北側に、黄色い花が咲くヒペリカムが植えられています。私は、城跡には似合わないと考えますがいかがですか。</p>	
2	竹田まちなか振興等について	(1)	<p>竹田城跡には、近畿自然歩道の「南但馬 竹田城址を訪ねるみち」があります。地域おこし協力隊のケビン・ネルさん、レハン・ネルさんのお二人が自転車を活用した活性化を模索されているようですが、竹田城跡に関連した活動はありますか。</p> <p>(2) 竹田のまちなかの振興と地域経済の活性化には、新たな魅力づくりが欠かせないと考えますが、市長はどのように考えておられますか。</p>	市長 教育長

		<p>(3) 竹田のまちなかに水車を設置すれば、観光の目玉の一つになると考えるがいかがですか。</p> <p>(4) ふるさと納税の強化が喫緊の課題だと考えます。竹田城跡の整備等、竹田城跡を前面に出したPRが重要と考えるがいかがですか。</p> <p>(5) KOUBAの運営を市の直営に変更し、活性化を模索されていますが、成果はいかがですか。</p> <p>(6) 第3次朝来市総合計画では、歴史文化遺産に関し、住民とともに保存・活用していくための指針として地域計画を策定するとされていますが、いつ頃策定予定ですか。また、策定作業は、直営ですか、委託ですかお尋ねします。</p> <p>(7) コロナ禍で郷土芸能の伝承が危機を迎えているのではと心配していますが、現状はどうなっていますか。</p> <p>(8) 竹田地域の円山川上流をはじめ、河川内に多くの樹木が繁茂しており、景観上や水害防止の観点から除去が必要と考えるが、いかがですか。</p>	
--	--	--	--

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月14日

番号	4	質問者	水田文夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	「平和」を考 える教育	(1)	ロシアのウクライナへの侵攻が続いています。戦禍にあるウクライナ情勢が時時刻刻と報じられ、兵士だけでなく多くの市民が犠牲となっています。このような状況を市長、教育長はどの様に感じられていますか。		市長 教育長
		(2)	沖縄が日本に返還され50年の報道や、戦禍にあるウクライナ惨状がSNSなどで伝えられており、子供たちもその報道に触れることが多いと思います。教育現場でどのように伝え、指導されていますか。		
		(3)	1927年、アメリカから日本に親善大使として全国の小学校に贈られた「青い目の人形『メリーちゃん』」(写真)、第二次世界大戦で多くの人形が姿を消しましたが、山口こども園には保存されています。日米親善と平和を語る人形です。この時代であるからこそ、語りつなぎ、平和教育に活用すべきと思いますが、どのように思われますか。		
2	子供の安心・安 全、防犯対策に ついて	(1)	南但馬警察署生活安全課によると、子供及び女性が見知らぬ人に声をかけられる、写真を撮られる、付きまといられる等の「不審者の子供等への声掛け事案」などは、朝来市内で令和3年度に16件(うち子供12件)発生しているとのこと。子供への不審者など事案にどのような対策、指導が行われていますか。		市長 教育長
		(2)	学校周辺の道路や通学路、駅前などには、防犯カメラを市で設置すべきではないでしょうか。		
		(3)	山口小学校が朝来市ハザードマップで「土砂災害(土石流)警戒区域」内にあります。発生源の基となる上流での砂防堰堤の設置など、砂防対策などが必要ではありませんか。		
3	朝来の未来へ の投資	(1)	この春、高校を卒業した生徒で朝来市に定住したのは何人ですか。また、高校生が大学などに進学した後に朝来市に帰ってくる率は何パーセントですか。		市長 教育長

	<p>(2) 朝来市議会は、昨年8月に市内高校生16人を議員として迎え「高校生議会」を開催していますが、市として小学生議会、中学生議会を開催する考えはありませんか。</p> <p>(3) 他の市町では小学生議会、中学生議会も開催されています。目的は、まちづくりについて考え、意見を発表する体験を通して、行政や議会への理解、関心を深めると共に、子どもたちの純粋な意見を市政運営の参考とするためとしているところが多数です。</p> <p>私は、もう一歩進めて、子供たちに意見を聞くのではなく、アイデアを自ら実現してもらう事業として「子供たちの、子供たちによるPLAN・U-18」を提案します。</p> <p>朝来の未来への投資額は、市内の中学校、高等学校、各校へ毎年200万円です。市長、教育長「朝来の中学生、高校生へ投資」しませんか</p>	
<p>4 中学校の部活動について</p>	<p>(1) 市内の中学校の部活動の現状は、どうなっているのか(学校ごとに、体育クラブ・文化クラブと指導者)指導者、顧問の状況は また、少年サッカークラブのような、学校を単位としないクラブはあるのか</p> <p>(2) スポーツ庁は、クラブ活動に外部指導者(コーチ)を任用する取り組みを進めています。朝来市は任用にあたっての体制整備をどのように進められるのか。また、進んでいるのか</p>	<p>市長 教育長</p>

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月15日

番号	5	質問者	浅田郁雄	タイトル	市民にやさしい生活を
質問事項		質問要旨			答弁を求める者
1	除雪対策について	<p>(1) 除雪に対して市民から要望や苦情等が本市に寄せられたと思いますが、市民の声にどのように対応されたのかお伺いします。</p> <p>(2) 市が保有している除雪車は何台あるのか、又業者に除雪作業を委託しているのは何台かお伺いします。</p> <p>(3) 歩行型の除雪機は何台保有しているのか、管理は、どのようにしているのかお伺いします。</p> <p>(4) 歩行型の除雪機を利用する場合、申し込みの時期はいつ頃までかお伺いします</p> <p>(5) 申し込みが多い場合には、対応はどうするのかお伺いします。</p> <p>(6) 現在の台数で足りているのか、台数が少なければ増やすべきだと思うがお伺いします。</p> <p>(7) 区で購入する場合、補助金制度はあるのか、又、ない場合は、今後、補助金制度を設ける考えはあるのかお伺いします。</p>			市長
2	こども園の事務処理について	<p>(1) こども園の事務的処理が多いと聞いているのですが、実質はどうか 又、どのような事務的処理があるのかお伺いします。</p> <p>(2) 昔から事務的処理が多かったのかお伺いします。</p> <p>(3) その対処法は何かしたのかお伺いします。</p> <p>(4) 事務員を2名派遣しているようですが、どのような事務処理をしているのか 又、事務員は園に何日いるのかお伺いします。</p> <p>(5) 今、こども園の事務処理を減らす為に何が必要だと思いますかお伺いします。</p>			教育長

3 JR 播但線の赤字対策について	(1) 本市は、播但線の公共交通の在り方をどのように考えているのか 又、播但線の利用増進対策をどのように考えているのかお伺いします。	市長
4 白井大町藤公園、夜久野高原観光について	(1) ゴールデンウィーク期間中の竹田城跡、白井大町藤公園、夜久野高原花畑の観光客数をお伺いします。  (2) 駐車場対策、トイレ対策は何かお考えかお伺いします。  (3) 夜久野高原花畑の一層の観光化に向けた取り組みをお考えでしたらお伺いします。	市長
5 秋葉台のテニスコート場の駐車場について	(1) テニスの大会をしたときに、あまりにも駐車場が少ないように思うが、市はどのように思われるかお伺いします。	市長
6 補聴器の購入費の助成について	(1) 市では、高齢者の補聴器購入時の助成をしているのか。  (2) 養父市では、高齢者補聴器購入費助成事業をしているがご存知かお伺いします。	市長
7 和田山の花火大会について	(1) 和田山の花火大会を存続するべきと考えるが、本市のお考えをお伺いします。	市長

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月15日

番号	6	質問者	吉田俊平	タイトル	本質的な行政改革の取り組みを！
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	<p>行政改革について</p> <p>(1) 平成20年度から令和4年度までの間に、職員は16.39%減少し、一般職員は22.56%減少しているにも関わらず、管理職は逆に5.98%増加しています。管理職率と一般職率の逆転現象を解消させるとともに、今後は管理職率を下げ一般職率を上げる必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 市の人事評価は「朝来市職員の人事評価に関する規程」に基づいて実施されているが、様式第1号から第3号を確認すると、部長級と係長が殆ど同じ評価項目となっている。その一方で、令和3年度から始まった人財育成計画では階層別に求められる役割や能力が、部長・次長級、課長・副課長級、課長補佐・係長級、上席主査・主査級、主任・主事級・技能労務職として、5階層に分かれ、それぞれに求められる役割や能力が違うことから、少なくともこれらに対応した勤務成績評価であるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 平成20年度から令和4年度までの間に、正規職員は20.14%減少し、非正規職員は43.87%増加しています。正規職員を減らして非正規職員で補填しているとも理解できるが、実際には非正規職員は権限や取組める業務内容から一定の制限が存在をしているので、幾ら非正規職員を補填しても正規職員の職務は目に見える形で減ることはないという理解している。</p> <p>非正規職員が減らせない原因は大きく二つある。一つは平成19年3月14日に当時の井上市長と自治労兵庫県本部で交わされた確認書の存在がある。</p> <p>またもう一つは現在の「朝来市会計年度任用職員の給与に関する規則」の別表第2（第15条関係）の存在である。</p> <p>確認書は臨時・嘱託職員の任用上限を60歳の年度末までとするものですが、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が開始をされたことに伴い、確認書の確認内容は法律の要請により解消されたと理解します。</p> <p>その一方で朝来市会計年度任用職員の給与に関する規則は条例制定時に従前のものより整理されたと</p>	市長			

は言え、未だに職種及び基礎号給が 30 も細かく規定され、非正規職員を異動させる際の大きな障害となっていることから、規則の改正をすべきと考えるが如何か。

- (4) 公文書管理法第 1 条には「その他諸活動を現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにすることを目的とする。」とその目的を定めていますが、市公文書管理規定第 1 条には「市の文書を系統的かつ有機的な制度として維持し、その書記的事務の能率化を図り、併せて関連事務の合理化及び近代化を促進するため、文書の取扱い及び管理について必要な事項を定めるものとする。」とされ、市公文書管理規程は法律の求める目的が欠落しています。同法第 4 条では、職員に文書作成義務を課していますが、同規程には文書作成義務自体が存在しておりません。

そこで、公文書管理条例を制定し、公文書を管理する目的及び公文書の作成義務を規定すべきと考えますが如何か。

- (5) 朝来市業務改善委員会規程は第一条で「市役所において働きやすい職場環境を整え、簡素で効率的な業務の執行のため、朝来市業務改善委員会を設置する。」とされていますが、本来朝来市が目指すべき業務改善の目的は市民福祉の向上であり、市民サービスの向上である。

業務改善は、品質、費用、時間（納期）において改善を目指すべきものでありますが、市の規程では時間の改善と労務の改善がその目的となっております。

業務改善の、品質、費用、時間はそれぞれに関連しており、品質の向上は費用及び時間の低下を、費用の向上は品質及び時間の低下を、時間の向上は品質及び費用の低下をもたらす関係にあることから、それぞれを最適にバランスさせることが業務改善であるにも関わらず、市の目的である「働きやすく簡素で効率的な事務」は品質・費用・時間がそれぞれに関連した関係であることを明確に示していない

業務改善の目的を明確に市民サービスの向上とし、品質、費用、時間についてそれぞれの視点で業務改善を行うため、「朝来市業務改善委員会規程」を改正すべきと考えるがどうか。

- (6) 令和 2 年 10 月 1 日から水道・下水道の受付や料金徴収などの業務を外部に委託しましたが、その評価は上々であり、種々の結果も出てきているようである。私は平成 31 年 1 月に福岡県大野城市の「まどかフロア」を視察し、手続きのほとんどを一つの窓口で終わらせるワンストップサービスを実現した総合窓口について勉強をしてきました。
- その「まどかフロア」もまた業務委託であり、住民満足度を評価指標とする非常に高度な仕組みでありました。
- 今後職員への向き合う事務が複雑化し困難事例への対応の必要性が増す中で、これまでのルーティンな仕事から、これからの職員はクリエイティブな仕事に向き合う時間の確保が求められていることから、窓口業務等の外部委託の検討をすべきと考えるがどうか。
- (7) 朝来市職員等の旅費に関する条例では、私が令和 2 年 8 月 31 日に日当及び宿泊料の定額支給を実費精算に変更すべきと指摘し、令和 3 年 4 月 1 日から日当 2,200 円が交通費等に相当する諸雑費 1,100 円を実費精算として不支給とされたことは評価を致しますが、現在でも宿泊料は定額支給とされ、定額と実費の差額は支給を受けた者の非課税所得とされている。令和 2 年 9 月 15 日の総務常任委員会の審査過程での説明では宿泊料を実費精算している自治体は、小野市、丹波市、南あわじ市であり、一部を実費精算している自治体は、明石市、西脇市ということでありました。これら自治体は地方自治法第 2 条第 14 項が求める「最小の経費」を目指している自治体と言えるが、朝来市の宿泊料を実費精算し「最小の経費」を目指す考えはないか。
- (8) 今年度 4 月以降に、二つの原課及び事務局で事務の引継ぎ不足があったが、それは職員個人だけの問題ではなく、事務の引継ぎ時期があまりにも短く、新年度以降等では新たな事務に専念しなければならず、スムーズな引継ぎができていない可能性がある。また、地方公務員の異動は、分掌事務の広さから、民間企業より大変であると考えられる。そこで異動内示をする時期を早め余裕をもって引継ぎができる体制を整えるべきと考えるがどうか。
- (9) 市の行政財産が建っている土地が市所有地ではな

	<p>く借上げ地となっているところが少なくない。行政財産の存廃は市や市民によって選択されるべきと考えるが、その土地を所有する者との利害調整を要することから施設の存廃自体がその選択肢として認められにくいといった大きな問題が生じていることは当局も認識しているものと考えているが、具体的に英断を下すためには、土地所有者と交渉をするための個別調査をそれぞれに行い、その後に地道な交渉を行い、最終的には朝来市にとって有益な結果を得なければならないことから、市長はこの問題をどのように考え、今後はどうされるお考えか伺います。</p> <p>(10) 最後に、地方公務員の定年引上げに伴う市の条例及び規則改正に関し検討している内容とその方針について伺うとともに、特例任用についてはどうする考えか。</p>	
<p>2 公共交通の確保について</p>	<p>(1) 令和4年4月11日にJR西日本から「ローカル線に関する課題認識と情報開示について」の中で、乗車密度が日2,000人未満の路線区間の経営状況が示され、市内では播但線の和田山寺前間が平成29年度から令和元年度の平均で収支率が29.4%の路線区間営業損失が7.3億円、平成30年度から令和2年度の平均で収支率が27.0%の路線区間営業損失が6.7億円として開示された。</p> <p>私は令和元年度3月定例会で「従来の議論を聞いていると電化や高速化の議論に終始しているように聞こえるが、JRは公共交通を担っているものの、本質は営利企業であり、播但線の利用促進を図らなければ、電化・高速化は単なる負担増となるだけである。遠回りにはなるかもしれないが、JRの利用促進を推進する必要がある。」と従来の電化や高速化といった主張や議論よりもJRの利用促進を進めなければ今後大きな問題となる警鐘を鳴らしましたが、その通りの結果となりました。その間に市の取組みが全くなかったとは言わないが、効果的な取組みやドラスティックな転換を行わなかった責任はあると考えるが現時点でその責任問題を議論するつもりはない。</p> <p>そこで、JR西日本の情報開示以降の他の自治体の取組みや対応などを踏まえた上で、今後の方向性を思索すると、三つの取組みが必要になると考える。</p>	<p>市長</p>

	<p>一つは、<b>JR</b> の利用促進をする体系定な取組みを早期に実施することである。具体的には従来から実施している域内利用の促進を継続しながら、より重要なことは域外利用の促進を図ることであり、観光利用と帰省利用の促進を検討すべきである。</p> <p>一つは、播但線の和田山駅寺前駅間の立地自治体と協力連携した取組みである。具体的にはその財源をふるさと納税に求めて、鉄道施設に対する固定資産税の減免又はそれに相当する額又は半額等の補助金での経常利益の改善に寄与させる取組みを検討すべきである。</p> <p>最後に、滋賀県が導入を検討している交通税を兵庫県でも同様に導入検討するとともに、国に対しても法律等での対応を求めるべきである。</p> <p>以上のように考えるが、市長の見解を伺います。</p>	
<p>3 生活困窮者について</p>	<p>(1) 生活困窮者自立支援法は平成二十五年法律第百五号として平成 27 年 4 月 1 日から施行されているが、同法第 1 条で「生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。」とされており、生活困窮者に対する重層的セーフティネットとして、生活保護制度、生活困窮者自立支援制度、求職者支援制度、社会保険制度、労働保険制度の段階的階層的な支援制度によって生活困窮者を支える仕組みを構成されている。</p> <p>令和 2 年度の自立相談支援実績は新規が 58 件の合計 78 件、個別支援会議実績は 7 ケース 15 回でありましたが、日本総研の調査によると、高齢者世帯に占める生活困窮者は 17.5% の 350 万世帯で、低収入の高齢者世帯数の推移は 1992 年に 132 万世帯であったものが 2012 年には 445 万世帯と 3.4 倍になっている。この数字から朝来市の生活困窮者を推計すると総世帯数 12,322 世帯 (2020 年) からは 2,156 世帯、高齢者世帯数 3,836 世帯からは 671 世帯とかなりの世帯が生活困窮で苦しんでいることが予想され、市が対応できている件数や市が把握している件数は生活困窮者の実態のほんの一部に過ぎないことが容易に分かることから、まずは市内の生活困窮者の実態調査を民生委員等の協力を得ながら実施する</p>	<p>市長</p>

	<p>必要があると考えるがどうか。</p> <p>また、それに伴い、現在の予算額 12,411 千円と職員 2 名の支援体制も必然的に見直しを求められる。</p> <p>また、ふくし相談支援課との連携や役割を明確にするため行政組織規則を改正し、ふくし相談支援課の事務分掌に「自立相談支援に関すること。」を追加すべきと考えるがどうか。</p>	
--	--	--

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月15日

番号	7	質問者	加藤 貴之	タイトル	対話で拓く朝来市の未来
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	消防団を中心とした地域防災について	<p>消防団は地域防災の要であるが、人口減少や生活様式の多様化の中で、時代に合った姿が求められている。</p> <p>(1) 団員確保の必要性</p> <p>① 朝来市消防団の定員数と団員数の推移を問う。</p> <p>② 新規入団員数の推移、平均年齢の推移を問う。</p> <p>③ 将来を見据えると団員確保は急務であると考え、団員確保に向けた現在の取り組みは。</p> <p>(2) 技能向上と団結力の強化</p> <p>① 操法大会は消防力向上のために有効な事業であるが、コロナ下で中止が続いている。代替策と今後の方針は。</p> <p>② 操法大会は、練習の負担が課題である。市として練習方法等に一定の指針を設けるべきと考えるが、市長の考えは。</p> <p>(3) 処遇改善と開かれた消防団づくり</p> <p>① 昨年4月の消防庁長官通知を受けた、処遇改善の対応は。</p> <p>② 同通知では報酬の直接支給も言及されている。直接支給が求められる背景は何か。また、それに関して、各分団長アンケートの結果からどのような課題が上がったか。</p> <p>③ 直接支給の課題は解決可能であり、長い目で見れば消防団の活性化に結び付くと考える。市長の考えは。</p> <p>(4) 対話で拓く未来の消防団</p> <p>消防団の課題解決と地域防災の強靱化のため、以下の対話の場を設定すべきと考える。市長の考えは。</p> <p>① 団員と幹部の対話により将来の消防団の姿を描くこと</p> <p>② 地域と消防団、常備消防の間での対話により、地域防災の将来像を描くこと</p>			市長

<p>2 安心して出産・子育てできる環境について</p>	<p>出産後の母親の心身の負担は非常に大きい。父親等の支援はもとより、公的ケアの必要性も高まっている。</p> <p>(1) 父親等の育児・家事への参加支援について</p> <p>① 父親等が家事・育児に積極的に参加できるよう、市はどのような支援や働きかけを行っているか。</p> <p>② 育児休業取得率向上のため、取得した労働者と企業に対して奨励金を交付する制度を提案するが、市長の考えは。</p> <p>(2) 産後ケア事業について</p> <p>① 本市の産後ケア事業の内容と利用状況は。</p> <p>② 通所型の産後ケア事業について、対象施設が遠すぎて利用が困難という意見がある。市内の公共施設等を活用した産後ケア事業の実施は可能か。</p> <p>(3) 養育支援訪問事業について</p> <p>① 養育支援訪問事業の基準と実施状況は</p> <p>② 同事業の基準に満たない家庭についても、一時的な家事・育児支援への要望が多くある。気軽に頼める「子育てヘルパー派遣事業」の設置を提案するが、市長の考えは。</p> <p>(4) 対話で拓く朝来市の出産・育児支援</p> <p>妊娠期からの切れ目ない支援のための対話の場として、子ども・子育て会議に出産・育児に関する事項を含めるべきと考えるが、市長および教育長の考えを問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>3 外国にルーツを持つ市民の支援について</p>	<p>外国にルーツを持つ家族の増加に伴い、教育や居場所づくりの面での支援が求められる。</p> <p>(1) 児童生徒への日本語支援について</p> <p>① 市内で日本語指導が必要な児童生徒数を問う。</p> <p>② 現状、学校ではどのような支援をしているか。</p> <p>③ 語学力が不十分な児童生徒には、母語の種類によらず放課後等に学校での語学支援が必要と考えるが、教育長の考えは。</p> <p>④ 日本語話者でない保護者に連絡する際にどのような配慮が必要と考えるか。</p>	<p>教育長 市長</p>

	<p>(2) 居場所づくりについて</p> <p>① 国際交流協会等の事業において、市内の外国人間の交流がどのように図られているか。</p> <p>② 外国人市民の多くが交通弱者であることを考慮すると、各地域自治協議会がその居場所としてふさわしいと考える。自治協を会場とする交流の場づくりの設置を提案するが、市長の考えは。</p> <p>(3) 対話で拓く朝来市の多文化共生 朝来市版多文化共生推進計画の策定を視野に、多文化共生について考える対話の場の設置を提案する。 市長の考えは。</p>	
--	--	--

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月15日

番号	8	質問者	尾崎里美	タイトル	コロナについて
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	コロナワクチン接種について	<p>(1) 接種についての考え 朝来市では推奨しているのか 接種率低下についてどう思われるか 後遺症について知っておられるか</p> <p>(2) 子どもの接種について ワクチン接種の安全性等について、様々な情報が氾濫している。保護者の判断材料となるような根拠ある情報を市として発信すべきと思うが、どう考えておられるか。</p>			市長
2	コロナ感染について	<p>(1) 現状把握できているのか 病床確保はできているのか 救援物資についてきちんと配布されているのか</p> <p>(2) クラスター発生施設への把握 クラスター発生施設への対応 感染者のお世話について どの様に自宅待機されているか把握されているのか</p>			市長
3	コロナ後遺症について	<p>(1) 朝来市における後遺症患者 後遺症患者がどれだけおられるのか 後遺症患者の救済措置についてどう考えておられるか</p> <p>(2) 朝来市としての救済措置 相談窓口等の設置をされてはどうか</p>			市長

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月15日

番号	9	質問者	松井道信	タイトル	朝来市の文化財について
質問事項		質問要旨			答弁を 求める者
1	朝来市の文化財の保全・管理について	<p>(1) ・市の文化財に対する姿勢 市内の歴史的文化遺産の継承問題について、市の歴史文化基本構想を含め、今までどのように取り組んできたのか、又今抱えている課題はどこにあるか。第3次朝来市総合計画の基本計画に掲げる「地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用」をこれからいかにして進めようとしているのか。</p> <p>(2) ・市の文化財管理・保全に対する体制について 現在文化財課、生野支所では、学芸員資格を有する者は何名在籍しているか、その専門は。文化財課と生野支所に担当があるのはなぜか。</p> <p>(3) ・市の古墳の扱いについて 過去の議会で、古墳群を来年度国指定申請をしようと言っている。また西山古墳や車塚古墳の発掘・調査結果を公開や展示さらにはシンポジウムを開催とも言っている。現在の進捗状況は。</p> <p>(4) ・市の歴史的遺産の扱いについて。 埋蔵文化財センターの展示方法や内容に対して、もう少し専門性を求めるべきではとの声を聞くが、どのように考えるか。生野書院では、常時古文書等の公開がされているが、現在の展示をどのように捉えるか。</p> <p>(5) ・文化財の保存について 文化財の継承問題をどのように考えるか。特に個人所有のものについてどのように考えているか。</p> <p>(6) ・古文書の保存について 生野地区では、旧石川家の古文書などの調査を予算化し継続して行っているが、その成果を確認する方法はあるか。生野地区以外での古文書は、どこでどのように保存管理されているか。古文書等の資料のデジタル化は検討されているか。</p>			市長 教育長
2	教育と文化財	<p>(1) ・学校教育と文化財 教育基本法や教育振興基本計画においては、伝統と文化を尊重する教育の重要性が謳われている。しかし「伝統と文化」に関する教育のための時間は、各学校が目標や内容を定めることができる</p>			教育長

	<p>「総合的な学習の時間」を除いて用意されていない。幼少期から学んだ地域への誇りや愛情は、将来の定住化にもつながる高い要素もあると考える。朝来市の小学 3 年生からの副読本「わたしたちの朝来市」は、どのような内容をどの教科で教えるように指導しているのか。</p> <p>(2) ・教育の標準化について  地域の歴史遺産について、一番問題となるのは現場での扱い方である。各校の教員間での格差、学校間格差のない標準的な指導が求められる。年度によって内容が異なることも問題だ。地域の特性を外すようでは意味がない。未然に防ぐための手立てを、どのように考えているか。又朝来市として最低限共通して伝えておかなければならない「人・もの・こと」についてどのように考えるか。</p>	
--	---	--

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月16日

番号	10	質問者	嵯峨山 博	タイトル	幸せが実感できるまちを目指して	
質問事項		質問要旨				答弁を 求める者
1	子育て世帯への支援について	<p>(1) 3月議会において子育て支援に対する他自治体との差別化について疑問をしたが、子育て世帯への支援、子どもへの支援に対して市長は今後どのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 高校生医療費の無償化については、これまでも議論してきたが、長きにわたり検討されてきた。新年度には実現すべきと考えるが御所見を伺う。</p> <p>(3) 修学旅行等、万全の体制で行われているが、新型コロナウイルス感染の影響により、感染拡大前とどのように内容が変わったか伺う。</p> <p>(4) 保護者の同意の有無により、学校行事へ参加できる児童・生徒、できない児童・生徒があるように聞いた。修学旅行等は学習の機会と考えるが、児童・生徒の公平性に対して教育委員会はどのように考えるか。</p> <p>(5) 新型コロナ感染拡大の影響により、修学旅行等、学校行事に対する保護者負担は増加になっていないか。</p>				市長 教育長
2	農業振興について	<p>(1) 生産者の多くが60歳以上の方であると聞いている。一方、岩津ねぎ生産に取り組む若者もいる。生産者、作付面積はどのように変化しているか。</p> <p>(2) これまでも、岩津ねぎブランド強化について様々な施策を行っているが、更なるブランド力の強化が必要である。どのように考えているか。</p> <p>(3) 若者が生活するためには、ブランド力強化と並び岩津ねぎの価格についても不満の声を聞くが、これらの課題に対してどのように考えているか。</p> <p>(4) 品種改良したねぎの生産も行われている。岩津ねぎとの関係性、品種改良を行ったねぎについて今後どのようになるのか。</p>				市長

3 公共交通について	(1) 播但線に対して、県、国、JR 西日本旅客鉄道へ市長は働きかけられている。これまで、利便性、高速車輛の導入検討を求めてきたが、市長はどのように考えるか。	市長
------------	---	----

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月16日

番号	11	質問者	森田龍司	タイトル	朝来の活力あるまちづくりを拓く	
質問事項		質問要旨				答弁を 求める者
1	朝来市人材育成計画について	<p>(1) 時代が大きな転換期を迎えている要因の一つに成熟社会がある。これは精神的な豊かさや生活の質的向上を重視する社会であり、一人一人がそれぞれに価値観や生き方、働き方などの求めるものが違ってきていることが要因となって多様化した社会となっている。そして、その社会の多様性は職員の仕事にも大きな影響を与えていると思うが、まずは、市長に、これらの時代の変化について、どのようにとらえているかを尋ねる。</p> <p>(2) これらの社会情勢の変化から、職員に求められる役割や働き方が大きく変わりつつあるが、市長は、こうした変化に対応する人材育成をどのように考えているのか尋ねる。</p> <p>(3) 多様化する社会に対応する「求められる職員像」について、市長はどのように考えているか尋ねる。</p> <p>(4) 30代は、約10数年の経験から、最も成長ができる、充実した時間を過ごせる期間であり、また、反面に役所の常識に染まってしまう時期であるとも考える。いわゆる飛躍する時期でもあり、モチベーションが下がる時期でもある。この30代での時期は、職員としての一生が決まるといっていいほど、とても重要な時期（期間）であると考えている。この時期における求める役割や能力と、ここに特化した人材育成をどのようにしているのか尋ねる。</p> <p>(5) 有意義な30代を過ごして、45歳位から優秀な管理職として、培ったマネジメント力、リーダーシップ、コミュニケーション能力、人間力を発揮することで、その管理職としての真価が問われるが、その準備が十分にできているかを尋ねる。</p>				市長

	<p>(6) 自治体職員は、官の立場で仕事を通じて、公共に貢献することはもちろんのこと、プライベートでも「民」の立場で、地域づくりなどの「公」に活動することができる。こうした姿が、本当の公務員の姿と考えるが、市長にその見解を尋ねる。</p> <p>(7) 生駒市は、「地域貢献活動を行う職員の営利企業等の従事（副業）の促進について」という運用規定を定めて、市職員の地域活動への積極的な参加を促進させ、市民との参画や協働によるまちづくりを目指しているが、市長には、職員の副業制度についての見解と職員が積極的に地域活動に参画することについて、その見解を尋ねる。</p> <p>(8) 消防団活動、少年スポーツの指導者、NPO活動などの様々な地域貢献活動がある。こうした活動に従事している状況について把握をされているのか。</p> <p>(9) 家事、育児と仕事の両立に奮闘している人にとっての、地域貢献活動とは、どんなことが考えられるか。また、その能力を発揮し、併せて学びを進めていくためにはどんな環境づくりが必要か。</p> <p>(10) 公務員は、民官双方で公に資する人材になれる。この2つの立場で公の担い手になれるのは、官の立場で仕事ができる公務員しかできない。ここに公務員（職員）の魅力があると思う。また、こういう職員が多くなるのが、将来のまちづくりに必要であると思うが、市長の見解を尋ねる。</p>	
--	---	--

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月16日

番号	12	質問者	藤本邦彦	タイトル	子ども達に安心安全で豊かな食を	
質問事項			質問要旨			答弁を 求める者
1		「みどりの食料システム戦略」どう取組むか	<p>(1) 昨年5月に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」について、どのようにお考えか。 戦略では2050年までに目指す姿として国の取組方向が示されているが、朝来市としてはどのような農業を目指し、どのような取組を考えているか。</p> <p>(2) 「化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減」。 特にネオニコチノイド系殺虫剤については廃止の方向が打ち出されている。それほど生態系への悪影響が懸念されるということ。朝来市内での使用状況と影響についてどのように把握されているか。 水稻におけるラジコンヘリやドローンを使用したネオニコチノイド系農薬の空中散布について、近年の市内地域ごとの散布面積の推移はどのようになっているか。 今後、ネオニコチノイド系農薬の使用量や空中散布による散布面積を減らすために、どのような取組を考えているか。</p> <p>(3) 「輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減」。 昨年从高騰を続けている化学肥料だが、秋蒔き肥料については、さらに今まで例のないほどの値上がりが発表されている。脱化学肥料を促す農家へのアドバイスがもっと必要ではないか。みどりの食料システム戦略における「使用量30%低減」という目標をどのようにお考えか。</p> <p>(4) 「耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%（100万ha）に拡大」。 衝撃的な内容にも感じられるが、しかし、こうした国の方向に倣い、むしろ朝来市がこれをリードしてはどうか。それにより朝来ブランドの農作物を全国にアピールすることができるのではないか。</p>			市長

	<p>現在、化学肥料を使わない有機農業に取り組む農家は朝来市内にどの程度おられるのか。有機農業の取組面積はどうか。耕地面積の何%を占めるのか。また、有機農業の担い手は世代別では若い世代に多いと感じるがどうか。</p> <p>近隣自治体と比較して、朝来市の有機農業への取組はどのような状況と考えているか。</p> <p>(5) 「2050年の農業」を担う人材の育成、そして「食育」について質問する。</p> <p>2050年の農業を担うのは、今、20代や30代の若者たちであり、さらに10代以下の子どもたちである。</p> <p>若い世代への営農支援は「みどりの食料システム」を目指したものであるべきであり、すでに若い世代の多くはその方向を目指して有機農業に取り組んでいる。そのような若い世代による有機農業への取組を積極的に支援するべきと考えるがどうか。</p> <p>(6) また次世代の担い手である子どもたちは食育を通じて、そして地域での農業体験や自然体験を通じて、朝来市の自然と農地、農業の大切さを学ぶ。</p> <p>これは生産者としてだけでなく、消費者として、安心で安全で健康的で自然環境にもやさしい食品を選ぶ市民を育てることにつながるのであり、そのことが朝来市の農業を守ることに繋がっていく。</p> <p>この食育の重要性について、市長のご所見をお伺いする。</p>	
<p>2 学校給食にコウノトリ米を</p>	<p>(1) 市内の学校給食に使用されている食材の、無農薬、有機栽培食材の割合は。市内産食材の割合は。</p> <p>(2) 朝来市内のこども園や小中学校の給食に市内産無農薬有機栽培食材を積極的に使用するべきと考える。</p> <p>まずは米飯給食において市内産無農薬コウノトリ米の使用を進めてはどうかと思うがいかがお考えか。</p> <p>これは、子どもたちの健康のためであり、食育であり、将来の担い手育成であり、市内農家への支援策でもある。当然朝来市全体で支えるべき、大変大きな事業である。どのようにお考えか。</p>	<p>市長 教育長</p>

	<p>(3) もちろん、市内産無農薬有機栽培野菜も積極的に使用するべきと考えるが、野菜の場合、地元産野菜は加工に手間がかかるとの説明を受けている。それならばすでに加工済みの地元産野菜を供給する仕組みができないか。これらを実現する上での課題について、どのようにお考えか。</p>	
<p>3 市内の「子ども食堂」について</p>	<p>(1) 朝来市内の「子ども食堂」について質問する。市内にはどのような活動があるか。</p> <p>(2) 市内の「子ども食堂」の取組に市はどのような支援を行っているか。「子ども食堂」について市はどのように考えているか。</p>	<p>市 長</p>

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月16日

番号	13	質問者	上 田 幸 広	タイトル	全世代に優しいまちへ
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	出生祝事業について	<p>(1) 現在までの実績について伺う。</p> <p>(2) 対象者の感想など把握しているのか内容と共に伺う。</p> <p>(3) 他自治体の同様の事業に比べ祝金の内容が乏しいと思われる。昨今の物価の上昇も鑑み祝金の増額を検討すべきと考えるがご所見を伺う。</p> <p>(4) お祝品のフォトフレームについてどのような形状のものか伺う。</p> <p>(5) フォトフレームに子どもの名前や身長・体重・生年月日を刻印し贈呈すれば祝福の思いも一層増すと思うがご所見を伺う。</p> <p>(6) 朝来市の作成したオリジナル婚姻届は好評であると認識しているが、同様に市として祝福の思いを形として伝える為に、オリジナル出生届やオリジナル命名書を作成すべきと考えるがご所見を伺う。</p>			市長
2	学校教室のLED化について	<p>(1) 市内小中学校のLED化の現状について伺う。</p> <p>(2) 今後の教室LED化の計画について伺う。</p> <p>(3) LED化によりどのくらい電気使用料が削減されるのか伺う。</p> <p>(4) 文科省が推進する「エコスクール・プラス」事業には「省エネルギー・省資源型」としてLED化や2重サッシなどの改修も含まれている。朝来市に於いても「エコスクール・プラス」事業を利用すべきと考えるがご所見を伺う。</p> <p>(5) LED化は、SDGs教育や環境エネルギー教育にも有効と考えるがご所見を伺う。</p>			教育長

<p>3 高齢者への援助について</p>	<p>(1) 現在、介護サービスを利用されていない一人暮らしの高齢者と高齢者のみ夫婦の世帯の数を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の困りごとの中には、買い物などの外出時の付き添いや家の周りの手入れや冬季の除雪などがある。この様な困りごとについて当局はどの様に対応しているのか伺う。</p> <p>(3) 他自治体に於いては、軽度生活援助事業としてシルバー人材センターなどを活用して安価な負担金額で困りごとに対応している。朝来市に於いても軽度生活援助事業を検討すべきと考えるがご所見を伺う。</p>	<p>市長</p>
----------------------	---	-----------

第5回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和4年6月16日

番号	14	質問者	日 下 茂	タイトル	竹田城は竹田城跡ではない	
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者	
1	朝来市として竹田城をどう表現するか	(1)	日本航空との連携について、3月定例会においても質問を行ったが、それについて問う。			市 長 教育長
		(2)	ひょうご観光本部、JALのWebページの竹田城、竹田城址を竹田城跡に修正を求めた理由について問う。			
		(3)	竹田城、竹田城跡、竹田城址のどれが正しい表現と考えるか。また、その根拠は何か。			
2	ASAGOiNG、健幸の造語は、学校ではどう取り扱うのか	(1)	ASAGOiNGの表現、発音は正しいか。			市 長 教育長
		(2)	健幸づくり条例の目的を検証する 健幸は健康と幸せを感じるまちづくりの合体用語と考えるが、市長の考えについて問う。			
3	生野町の活力再生を最優先で取り組みよ	(1)	生野町の活力再生に何が必要と考えるのか。			市 長 教育長
		(2)	播但線の生き残りの取組、銀の馬車道の観光事業への取組、生野駅の在り方について問う。また、播磨の避暑地で交流人口拡大を目指すべきと考えるが、このことについて市長の考えを問う。 生野駅跨線橋と西口の関係、生野庁舎建替えの時代背景、ニーズの変化について問う。			